

まちの観光イベントをご紹介します

Pickup Events



日=日時、日程 定=定員 料=費用 持=持参物
場=場所 問=受付、問い合わせ 電=電話番号

＃福津推しインスタフォトコンを開催します
あなたが推したい福津の風景やグルメなどの写真をインスタグラムで募集します。応募条件など詳しくはインスタグラム「福津光景 @fukutsu_scenes」をご確認ください。



▲光の道開運スイーツロゴ

ふくつ本舗で手土産を
ふくつ観光協会が運営する「手みやげや ふくつ本舗」では、福津のお土産や特産品を多数取りそろえています。好みに合わせて、詰め合わせなどもできます。手みやげや ふくつ本舗

宗像・沖ノ島と関連遺産群世界遺産登録5周年記念
切手を限定10セット販売します。
¥1セット1400円
問 ふくつ観光協会 ☎42・9988

場福間駅2階「ふつくる」
神宿る島 登録5周年記念切手販売

お花と野菜のマルシェ
福津市の新鮮な花や野菜を取り扱っている直売所「あんずの里市」から届けます。
10月6日(木)、10月20日(木) 午前11時～ ※商品がなくなりしだい終了

ふくつ観光協会
応募期間 11月30日(水)まで
問 ひかりのみちDMO福津 ☎62・5790

津屋崎千軒音楽散歩
古民家から流れる音楽にまどろむ休日の午後。秋の津屋崎千軒にジャズや弦楽四重奏などのさまざまなジャンルの音楽が響きます。
10月10日(月)・祝午後0時30分～午後3時30分
場 藍の家とその周辺
問 藍の家 ☎52・0605

宮地獄神社の「光の道」と開運スイーツフェアの写真展を開催します。
10月15日(土)～11月30日(水)
問 津屋崎千軒 ☎52・2122

光の道&開運スイーツフェア写真展
人気のコンサートを今月も開催します。
10月19日(水) 午前11時～正午 ※開場は午前10時30分、駐車場が満車の場合、入場できない場合があります

うみがめ室内管弦打屋コンサート
51・3181

津屋崎千軒なごみ

藍の家 日記

藍染め体験
伝統的な発酵建ての正藍染めの体験で、手ぬぐいを染めます。
10月2日(日) 午後1時～午後3時 定 先着5人 ※要予約
料 3,000円 持 ビニール袋、エプロン

手づくり市
津屋崎千軒の懐かしいまち並みと丁寧な手仕事をお楽しみください。作家さんとの交流も魅力です。藍の家も会場となります。
10月9日(日) 午後1時～午後4時

藍の家放送局
ピアノ演奏のすてきな音色でいろいろなジャンルの曲を奏でてくれる「ユッキー」さんが出演します。
10月16日(日) 午後1時～午後3時

岡村信子と仲間たちのふれあい作品展
ナカムラケイ、田中光子、池田洋子、花田莉絵と陶人形教室の生徒たちの作品展です。石の彫刻、陶芸、絵画、小物などさまざまなジャンルの作品をお楽しみください。
10月23日(日)～10月30日(日) ※最終日は午後3時まで

問 津屋崎千軒民俗館 藍の家 ☎、FAX52・0605
●開館時間 午前10時～午後4時(日曜日は午前10時～午後5時)

いい素材、食材、人材をつなぐ地域商社

今日の「いいざい」

秋の地魚を堪能しませんか？

玄界灘に面し、質の良いタイが水揚げされる場所として知られる福津市。この時期のおすすめはこれから旬を迎える「平鯛」。高タンパク低脂質で、ほどよい食感・甘みが特徴です。淡泊な白身なので唐揚げや塩焼きなどの焼き物にするとおいしくいただけます。もちろん刺身にしても歯応えがあっておいしいです。お魚センターには、手頃で新鮮な魚がたくさん並んでいますので、ぜひ福津の旬の魚をご賞味ください。

営業時間は午前9時～午後5時、毎週火曜日は定休日です。問い合わせは、☎52-1939まで。

▲季節のお魚を紹介してくれた石原副店長

問 福津いいざい ☎72・6333



好いとお!福津

読者の声を中心に、市民の皆さんと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想や市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のことを掲載します。たくさんのお声をお寄せください。

ReadersVoice 読者の広場

表紙の写真がとてかわいらしく、特集の写真と連動して記事への「出合い」が良かったと思います。電子図書館の使い方が分かったのも良かったです。

また「まちの話題」で紹介されていた、新しいお菓子の情報など、福津のお土産情報は何かと役に立ちます。

最後に郷育カレッジ20周年、おめでとうございます。「郷育かわら版」に掲載されていた、学長のメッセージが心に響きました。

(うめさくさん/中央/53歳)

お便りありがとうございます。実はこの特集で、最初に行ったのが広報紙2ページの写真撮影でした。「出合い」を意識して撮影したもので、表紙の写真も含めて良かったと言っただけでうれしいです。

また、2月から始まっている電子図書館を知っていただけただけのも、大変うれしいです。コロナ禍で積極的な外出がまだまだ難しい中、少しでもたくさんの方に本を読んでも欲しいという図書館司書の思いもあり、始めたサービスです。図書館はもちろんのこと、電子図書館も多くの人に利用していただけると幸いです。

「まちの話題」では「なおらプロジェクト」「JALUXプロジェクト」で誕生した新しいお菓子を紹介しました。どちらも好評をいただいているよう「お土産で県外の知り合いに持って行ったら、とても喜んでくれた」という話しを私も知人から聞きました。今後、福津を代表するようなお土産になってくれることを願います。

広報紙10、11ページの郷育カレッジ成清学長の言葉は、私も心に響きました。「人は、命の灯がともされ命の灯が消えるまで学び続けます。この学びの連続が生涯学習です」と話されているように、生涯学習の場を体現したのが「郷育カレッジ」です。20年の中でたくさんの方が学び、学ぶ楽しさを知り「わがまち福津」の良さを再発見したのではないかと思います。毎年多くの講座が用意されていますので、より多くの人に受講してもらえたらうれしいです。

街角カメラレポート

読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題をお届け
今回は津屋崎のU.T.さんからの投稿です

舟つなぎ石

今は見渡す限り水田が広がり、ここが海だったということは想像すらできない。千軒通りに象徴されるように津屋崎は昔から塩作りが盛んな土地だったらしい。玄界灘がすぐ近くにあるので、それは当然かもしれない。塩は、人間が生きるためには絶対必要なもの。海水を使って塩田から作り出す天然の粗塩だったのだろうか。

危険な海での作業を終え、勝浦の舟つなぎ場へ着いた人々はどんなに安心したことだろうか。家族が迎えに来ていて「さあ、家に帰って一杯やろうか」と、笑顔で舟を石につないでいる姿が目につく。平和でのどかな時代だったかもしれないと思う。



▲田園風景の中に突然現れる「舟つなぎ石」

投稿大募集

「好いとお!福津」と「街角カメラレポート」は皆さんと一緒に作るページです。市内での出来事や広報紙の感想などがあれば、29ページのはがきやメールなどで受け付けています。なお、お送りいただいた内容は、加筆、修正、短縮する場合があります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。また、匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。たくさんのお声をお待ちしています。